

元んしんぶんり

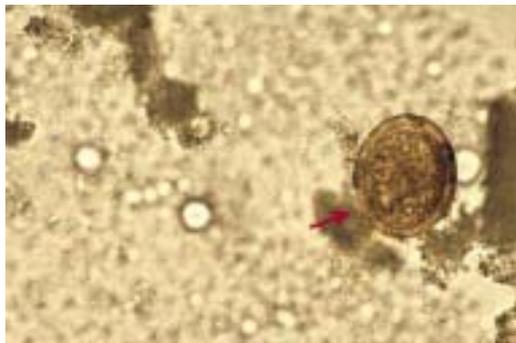


目次	蛔虫 1	おしらせ 4
	検査情報 2	声(会員の先生方から) 4
	検査Q & A 2	メモ 4
	センターご紹介 3	編集後記 4
	ひろば 3	

蛔 虫

Ascaris lumbricoides, round worm

蛔虫症ascariasisの病原体で人固有の寄生虫です。小腸(腔内)に寄生し腸に通じる小管に迷入したり、多数寄生した場合に団子状となり腸腔を閉塞したりして重い症状を起こします。世界各地で広くみられますが、特にアジアに多く存在が確認されております。1950年代は感染者が多数でしたが以後次第に減少しておりますが、家庭菜園や有機農法愛好家の増加等で年間数件ではありますが虫体同定の依頼があります。成虫の形態は淡紅色、ミミズ様で大き



写真上段:虫卵 下段:虫体(雌)

さは雌で長さ20~35cm、太さ3~6mm、雄は雌よりやや小さく15~30cm、2~4mmで体後端部は腹側に釣り針状に曲がっています。感染は成熟卵が人に食べられると小腸で孵化し、幼虫が体内を移行して肺に達し、肺組織中で約10日間发育したのち小腸に帰り、更に发育して約2ヶ月(虫卵摂食後)で成虫になります。雌単独寄生では不受精卵を、雄も共存するときには受精卵を便中に虫卵を認めます。また雄単独寄生では便中に虫卵を認めません。

症状は多様で、多数の幼虫が体内移行するとき希に肺に損傷を与え肺炎を起こしたり、成虫が小腸に寄生するときは無症状であったり、種々の消化器障害(腹痛、食欲異常、悪心、嘔吐、下痢など)や全身倦怠、発熱などみられます。



検査情報 GOT (AST)、GPT (ALT)

今回より検査値の読みに際して陥りやすい盲点いわゆる検査診断のピットホール（偽陽性、偽陰性も含む）に焦点をしばって連載します。

肝疾患患者でも正常値を示すこと（偽陰性）がしばしばあります。

正常値であっても慢性肝疾患の存在を否定できない

GOT、GPTは一般臨床検査では肝疾患のスクリーニングに最も鋭敏な検査です。しかし、慢性肝炎や肝硬変症でも炎症が沈静化していれば経過中にしばしば正常値を示します。

特に肝炎ウイルス（HBV、HCV）持続感染者では、肝障害の有無（無症候性キャリアか否か）は最低数回の経時的再検、他検査も含めた総合判断が必要です。

血中酵素量が増加しているにもかかわらず、活性が低下して正常値を示すことがあります。

腎不全で透析中の患者、妊婦等では、活性が低値を示すことがあります。

保存血清では、保存法により活性値が低下します。4 での保存は1週間以内とし、長期の保存は-80 が望ましい。

真の肝機能（肝予備能）は反映せず、肝疾患の重症度や予後の評価は難しい

肝機能検査と呼ばれていますが、血中に逸脱した酵素の活性を測定しており、元来、肝細胞内に残存する酵素量を反映している訳ではありません。肝硬変や劇症肝炎などの終末期では、肝細胞の炎症性壊死が強いかかわらず、肝細胞内の酵素量が枯渇したために、血中GOT、GPTがむしろ低下することもあります。

したがって、肝疾患の有無及び重症度は他の検査所見、経過も併せて総合判断する必要があります。

血小板数、空腹時総胆汁酸、ビリルビン、胆道系酵素、膠質反応（TTT、ZTT）、肝合成能の指標（アルブミン、コリンエステラーゼ、プロトロンビン時間）、線維化マーカー（IV型コラーゲンなど）、超音波所見など総合的に勘案する必要があります。時に肝生検を要します。

GOT優位あるいは単独高値の場合、肝疾患以外の疾患も考慮します

心疾患、筋疾患、溶血性疾患などにも留意します。これら疾患による症状の有無を評価し、血算、LDH、CPK、アルドラーゼなどを測定してみます。

健常者にかかわらず、異常高値を示すこと（偽陽性）があります

運動の有無、採血時の状況を確認してみます。

激しい運動、筋肉注射後、採血時の長時間の駆血により、軽度の異常高値をみることがあります。立位では安静臥床時の約10%増しとなります。

採血後の溶血はなかったか？

採血後の溶血により異常高値を示すことがあります。その場合、LDHも異常高値を示します。採血後早期に血清分離がなされたかが問題となります。

引用文献

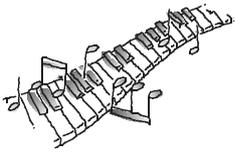
中井 利昭 他：検査の診断効率とピットフォール，中外医学社：2-3，1998年

検査Q & A

Q：自己血糖測定器による測定値と病院で受けた検査科の測定値が一致しないのはなぜですか？



A：このような質問には患者さんの簡易血糖測定器の精度チェックを行う。もしチェックで問題がなければ、機種間差が多少はあること、静脈血漿血糖値と毛細管血漿糖値とは幾分異なることなどを説明することも必要です。また、血糖自己測定を行っている患者さんでは1回1回の血糖値の上下に一喜一憂していると、かえって不安定型糖尿病に陥る危険性もあるので、その旨指導することが望ましいと思います。 (検査センター室長 大塚英樹)



センターご紹介

風邪？ もしかして花粉症・・・かも！

近年、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎などアレルギー疾患の著しい増加がみられ、医療機関でのアレルギー検査の需要が高まっています。当検査センターにおいては平成11年11月より化学発光酵素免疫測定法を導入し、感度・特異性に優れた結果報告が可能となりました。ルミワードは世界初のアレルギー全自動検査システムで平均50テスト/時間の処理能力を有し、検体量としても、総IgE：従来法の1/5、特異IgE：従来法の1/2と採血しにくい乳幼児でも十分に測定可能です。また、最小検出感度は総IgE：0.3 IU/ml（従来法：0.5 UA/ml）、特異IgE：0.06 IU/ml（従来法0.35 UA/ml）と低域まで正確に測定でき疑陽性判定が減少し、臨床診断上の判定（陽性、陰性）がよりクリアーになりました。



ひろば

インターネットによる文献検索



何かを調べる際に以前は辞典や辞書のページを懸命に捲らなければなりませんでした。今ではインターネットを使って手軽に様々なことを調べることができるようになりました。インターネット（Web）上で検索エンジンという情報を探し出すツール（tool：道具）を使うことによって、文献でさえも簡単に調べることができます。

主な検索エンジンに『Yahoo! Japan』『MerckManual』『goo』『google』などがあり、キーワードを入力するだけで必要な情報を検索できます。検索結果が沢山あってどれを見ればよいのかわからない場合には、複数のキーワードを入力したり、具体的なキーワードを入力することによって検索結果を絞り込むことができます。論文を検索する場合は、筆者のホームページや所属機関のページを探してみるのも効果的です。Web上の検索では、気をつけなければならないことがあります。それは、情報の信憑性、即ち検索したサイトが信頼できるものかどうかを見極めることが重要です。また、有料の情報サイトにも注意が必要です。更に、臨床検査に関することについては、国内でも地域や検査施設によって検査方法や単位・基準値が異なることがありますので注意しなければなりません。



お知らせ

特別値引き実施

医師会臨床検査センターでは日頃のご愛顧に感謝いたしまして、平成16年1月～3月ご出検分を5%値引き致します。詳細につきましては営業担当者までお気軽にお尋ね下さい。

第25回 医師会臨床検査センター学術講演会

(予定)日時：平成16年3月17日(水)19時

場所：市医師会館講堂(8階)

講演：『医療従事者と患者を守る施設内感染対策について』

九州大学大学院医学研究院

臓器機能医学部門内科学講座 教授 林 純 先生

声(会員の先生方から)



姪浜に開業して2年の月日が経過しようとしています。医師会臨床検査センターのお世話になり始めて1年になります。整形外科を行っておりますので、検査検体の量はわずかですが、一番助かるのは、担当の方を通じて気軽に相談できることです。ミニドックや福岡市補助のインフルエンザワクチン接種等に関して、すぐに返事がきます。新米開業医にとっては、検査の依頼に加え、様々な点で「お世話になっています。」という感じです。まだまだわからない事ばかりですが、医療の現場での著しい変化は待ってくれません。高度化する医療と高まる国民の水準にいち早く対応する意味でも医師会の情報及び検査に関する情報は不可欠です。

医師会検査センターの方々とともに勉強していきたいと思えます。今後ともよろしく願い致します。(前田 剛)

前田ごう整形外科 院長 前田 剛
西区姪浜3丁目15-18

メモ

施設内勉強会	臨床検査技師・営業担当者向(参加要予約)			
「リポ蛋白について」	1月29日・30日(木)(金)	16:00	於)	カンファレンス室
「栄養アセスメント蛋白について」	2月17日(火)	14:00	於)	カンファレンス室
「症例検討会 1」	2月26日(木)	16:00	於)	カンファレンス室
会 議				
臨床検査センター運営会議	1月28日(水)	18:30	於)	第1会議室

編集後記 あけましておめでとうございます。2004年はオリンピックの年であり、またダイエーホークス2連覇なるか、医療界にとって明るい展望をもたらす年になるか、注目する年になりそうです。それぞれ目標を達成するためには、チーム・組織の団結力ではないでしょうか、今年が良い年になりますように！



表紙のストレリチアについて・・・ストレリチアは、原産地南アフリカから、ストレリチアが日本に渡来したのは、明治時代です。今ではすっかり日本に定着し、生け花には必ず使われているほどです。以前は高価な切り花でしたが、輸送機関のスピードアップのおかげで、比較的安価に手に入れるようになりました。別名で、ゴクラクチョウカといわれるように、文字通り極楽に住んでいる鳥のようなイメージそのものの華麗な花です。花言葉の「恋いの伊達者」というのは、派手な飾りの付いた帽子をかぶって、気取ったプレイボーイを連想させて、おもしろいものがあります。

原産地：南アフリカ 花言葉：恋の伊達者、寛容、気取った恋 開花時期：周年

最盛期：12月～2月 花色：黄、オレンジ、青、紫、複色 花持ち：1～2週間程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 時藤清臣 奥野隆子 掛石利彦

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) TEL(092-852-1510)

http://www.ijnet.or.jp/fma/kensa/kensa.html E-mail: fma@po.ijnet.or.jp